

【平成30年度のC講座のご案内】

8月7日（火） C-4 児童が主体的に学ぶ小学校社会科の授業づくり

対象：小学校，特別支援学校の教諭・講師（定員20名）

「思考ツール」は，児童が本気になって学習に向かい，深く学んでいくための方策として注目されています。アイデアや問題の視覚化，考えや情報の整理，考えのフィードバック，つながりの明確化，意見の共有化，新たな知の創造，考えの評価など，生かし方次第で，これからの授業改善にとって，大きな可能性を秘めていると言えます。

今年の講座では，この「思考ツール」にスポットを当て，小学校社会科での活用例を紹介したり，実際に演習で体験したりしてもらいます。

また，県内で注目すべき実践をされている先生から，「明日からの授業に役立つ実践」を紹介をしていただく予定です。日々の授業づくりに悩んでいる方も，自身の授業のさらなるレベルアップを考えている方も，是非ご参加ください。

8月6日（月） C-5 生徒が主体的に学ぶ中学校社会科の授業づくり

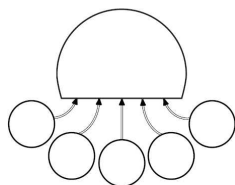
対象：中学校，高等学校，特別支援学校の教諭・講師（定員20名）

「思考ツール」を使って授業改善をし，学習過程の質的改善を行うことは，「深い学び」への一つのアプローチです。「比較する」「分類する」「関連付ける」「多面的に考える」「統合する」「構造化する」などの思考スキルは「思考力・判断力・表現力」の中核であり，その育成は，学習者である児童生徒にとって手応えを強く感じる学びになります。

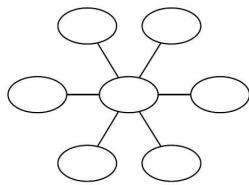
今年の講座では，この「思考ツール」にスポットを当て，中学校社会科での活用例を紹介したり，演習で実際に体験したりしてもらいます。

また，県内で注目すべき実践をされている先生から，「明日からの授業に役立つ実践」を紹介をしていただく予定です。日々の授業づくりに悩んでいる方も，自身の授業のさらなるレベルアップを考えている方も，是非ご参加ください。

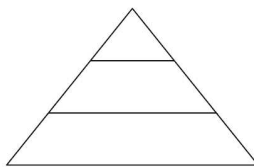
※主な「思考ツール」の例



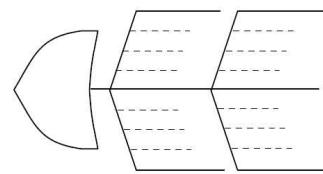
クラゲ・チャート



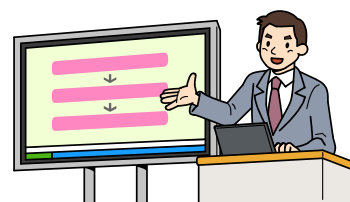
イメージマップ



ピラミッド・チャート



フィッシュボーン



【平成29年度のC講座の紹介】

C-4 児童が主体的に学ぶ小学校社会科の授業づくり

「社会科教育と主体的な学び」の講義や「小学校社会科における主体的な学びの実際」の演習を行いました。後半の演習では、日々の授業づくりをイメージして、普段の授業でも使えるような実践的な評価問題づくりを行い、熱心に議論をしたり、試作したりして研修を深めました。問題づくりの後は、発表や協議をして、よりよいものにできるよう練り合い、内容の濃い研修になりました。



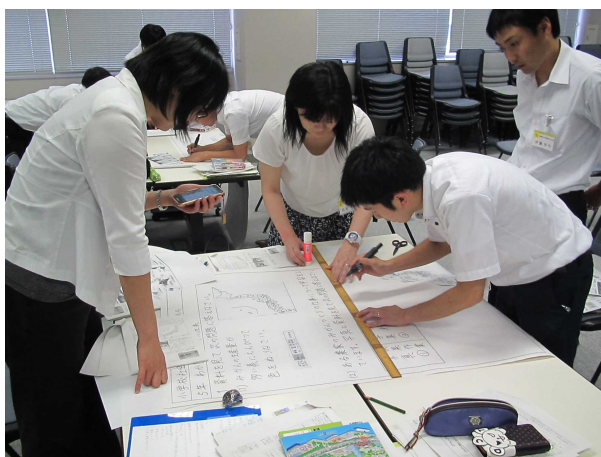
<受講者の声より>

日頃、工夫していることや悩んでいることを共有し、自分の課題を確認しながら講義を受けることができた。例をあげながら詳しく説明していただいたので、とても分かりやすく感じた。
(小学校)

社会科専門ではないので、社会の授業に不安を抱えていました。授業をする上で参考になったことは、教科書はよい資料集であること、学習課題はHow, またはWhyで設定するとよいこと、振り返りは毎時間は必要ないこと、単元構成を考えることなどでした。
(小学校)

単元評価（クリニック）問題等には、授業のヒントがたくさんつまっていることが分かり、授業づくりに意欲がもてました。秋田県民歌や自分の地域が盛り込まれており、授業づくりのヒントもいただくことができました。秋田県について、どこまでの知識を習得すべきなのかなど、これから社会科について学びを深めたいと思いました。
(小学校)

評価から授業づくりを考えるという視点が、理にかなっていて、今後の授業づくりにすぐに生かせると思いました。普段、先生方がどのように社会科の授業をつくっておられるのかが分かってよかったです。また、参加者の疑問から講座の内容を組み立てていただけたことが嬉しかったです。
(小学校)



C-5 生徒が主体的に学ぶ中学校社会科の授業づくり

「社会科教育と主体的な学び」の講義や「地理的分野における主体的な学びの実際」の演習を行いました。午後は地理に特化した講座とし、地球儀の使い方や地図帳の使い方などの情報交換したり、評価問題づくりの演習を行ったりしました。後半の演習では、日々の授業づくりをイメージして、普段の授業でも使えるような実践的な評価問題づくりを行い、熱心に議論をしたり、試作したりして研修を深めました。受講者は互いに学び合う雰囲気や意欲にあふれていました。



<受講者の声より>

先生方がそれぞれに課題とされていることは概ね共通しているように感じました。やらされているという意識ではなく、「なぜ？」と生徒が惹き付けられる教材研究をすることが、主体的な学びのスタートだと感じました。そのためには、教師が常にアンテナを高くもつことが必要であると教わりました。
(中学校)

これまでクリニック問題を授業の中でもふれてきましたが、この問題でどんな力がつくのか…と考えたり、どんな力をつければこの問題が解けるのか…といったところまでは十分に分析できていませんでした。非常に考えさせられました。
(中学校)

「良問をつくり、評価から授業づくりを見直す」という言葉がとても印象的でした。ゴールから学習課題を考えるのと同じように、評価から授業づくりを見直していきたいと思います。
(中学校)

中学校の先生方の授業の形態や、悩んでいることを聞くことができ、大変有意義な内容でした。ペアで問題づくりをしましたが、問題づくりの原点に戻れたような気がします。知識・理解だけではなく、思考・判断・表現・技能などの観点を入れた問題を今後も作りたいと思います。
(高等学校)



【平成29年度までの社会・地理歴史・公民の部屋】

【学習指導要領解説 ― 現行 ―】

[小学校学習指導要領解説 社会編（平成20年6月）](#)

[中学校学習指導要領解説 社会編（平成26年1月一部改訂）](#)

[高等学校学習指導要領解説 地理歴史編（平成26年1月一部改訂）](#)

[高等学校学習指導要領解説 公民編（平成26年1月一部改訂）](#)

【学習指導要領解説 ― 次期 ―】

[小学校学習指導要領解説 社会編（平成29年6月）](#)

[中学校学習指導要領解説 社会編（平成29年6月）](#)

【地域学習に役立つリソース】

※主な博物館

[秋田県立博物館](#)

[秋田犬会館](#)

[大湯ストーンサークル館](#)

[鹿角観光ふるさと館「あんたらあ」](#)

[なまはげ館](#)

[男鹿真山伝承館](#)

[秋田市立赤れんが郷土館](#)

[白瀬南極探険隊記念館](#)

[角館樺細工伝承館](#)

[旧日新館](#)

[後三年合戦金沢資料館](#)

※主な郷土資料館

[大館郷土博物館](#)

[比内町郷土民俗資料館](#)

[潟上市郷土文化保存伝習館（石川翁資料館）](#)

[象潟郷土資料館](#)

[由利本荘市郷土資料館](#)

[由利本荘市矢島郷土文化保存伝習施設（矢島町郷土資料館）](#)

[雄物川郷土資料館](#)

[増田郷土資料館](#)

[羽後町歴史民俗資料館](#)